

～蘇陽小版SDGs 2023～

蘇陽小学校の環境意識向上における3つの視点

日常の環境実践を大切にするこ
とで環境意識を高める。

生活の実践に
ついでに、
意識を高め
て、
環境を
改善する。

私たちの環境活動を多くの人に伝え、さらに環境意識を高める。

環境から学ぶ
～日常実践の
視点～
感受性の育成

環境について学ぶ
～確認の視点～
見方や考え方の育成

環境のために学ぶ
～発信の視点～
表現力の育成

環境意識向上のため、3つの視点を育む

今年度は、「環境から学ぶ」という視点から、日常の取組を更に意識した取組、「環境について学ぶ」という視点から、活動を行い自分の生活を振り返る取組、「環境のために学ぶ」という視点から、行ってきた環境活動を多くの人に伝える取組と、3本柱で活動を進めた。そして、全校児童一人一人の環境意識が、大きな環境活動に繋げていけるようにした。

蘇陽小学校 学校版環境 | SOにおける組織と計画

○環境教育全体計画では、日常的に環境活動を取り入れるように作成している。そのため環境意識の向上に繋がりやすいと考えている。また、SDGsを身近に感じ、日頃からSDGsについて意識できるように計画している。

[illegible]

**令和5年度 蘇陽小学校
学校版環境 | SO宣言目標**

- 花活動を行い、花いっぱい为学校を目指します
- 縦割り班での掃除を行い、学校をきれいにします
- 4 S（整理・整頓・節電・節水）を意識し、全校の環境意識の向上を目指します

【数值目標】

- 毎月の４Ｓチェックにおいて、全ての項目でできている児童が、７０％になるように目指します。
- 環境について「意識している」と考える児童が、年度末において７０％になるように目指します。

【日頃からの手立て】

- 花活動や縦割り班掃除などでは、互いに声を掛け合い、みんなで活動できるようにしていく。
- 4Sチェックでは、放送やポスターで呼びかけ、全校が常に意識できるようにしていく。

今年度は、全校一人一人の環境意識を高めるため、4S（整理・整頓・節電・節水）を取り入れている。さらに、花活動（花の水やり・花がら摘みなど）や縦割り班での掃除を大切にし、日常から行っている活動を更に意識できるようにした。



(4Sチェック後の6年生)

動

環境から学ぶ～日常実践の視点～

日頃から取り組んでいる活動であるが、日頃から行うからこそ、みんなで声を掛け合いながら活動を進めている。その結果、感受性を育み、全校の環境意識の向上に繋がるのではないかと考えている。

花活動

花活動では、1年生から6年生までの縦割り班を組んで、朝から交代で玄関にある花に水をあげている。定期的に水をあげることで花がずっときれいに咲いている。

年に2回、花の植え替えを行い、玄関は一年中きれいな花に囲まれている。



花の植え替え活動を行っています。縦割り班のみんなでプランターに土を入れ、花を植えていきます。

これからたくさん育ってね!!

花に水をあげていく
とどんどんと育っていきます。

夏は、マリーゴールドと百日草を植えました。とってもきれいに咲いていました。



縦割り班掃除

縦割り班での活動は、掃除時間においても行っている。高学年の児童を中心に、掃除の仕方を教え合いながら進めており、あまり掃除が行き届かない場所も集中して行うことができる。



あまり見ないところまで、丁寧に掃除をしていくことがとても大切だと思います。

雑巾で床を拭くと
とても気持ち良くな
ります。



日頃からみんなが使いやすいように、気持ちをこめて掃除をすすめているよ!!



環境について学ぶ～確認の視点～

確認の視点では、毎月2回のごみの計量や月末の4Sチェックを行い、全校一人ひとりの環境意識を振り返っている。こまめに振り返ることにより、環境への見方や考え方を養うことができる。

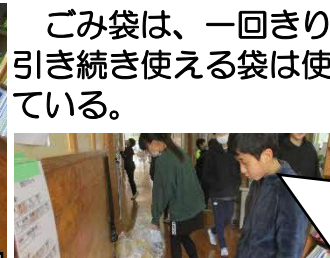
ごみ計測活動

環境体育委員会が、毎月15日と30日に全校のごみを集めて計測している。計量した後は、放送で全校のごみの量と次回への課題を伝えている。

調べた後に全校へ向けて次回への課題を伝えていることから、全校の一人一人が「ごみを少なくしよう」、「ごみになる前に別の方法で使えないか」などの意識もしやすい。



なるべくごみ袋は、一つにまとめています。まだごみ袋が使えるなら再利用しています。



ごみ袋は、一回きりの使用ではなく、引き続き使える袋は使っていくようにしている。

今回のごみの量はどのくらいだろう？前回より、減るといいな。

蘇陽小4S活動

一人の時でも環境活動に取り組みやすく、また生活の中で意識しやすいように、4S（整理・整頓・節電・節水）を全校に掲げ取り組んでいる。

整理	自分の物を落とし物にしてごみにしないために、自分の持ち物に名前を書いていますか。
整頓	机の中や棚の中をきちんと片付けていますか。
節電	電気の節約を意識していますか。
節水	水の節約を意識していますか。

4Sを日ごろから心掛けていることで、学校だけでなく、家庭や様々な場所でも意識してできることを目標として推進している。

項目	7月	9月	10~11月	1月
整理（自分の物を落とし物にしてごみにしないために、自分の持ち物に名前を書いていますか。）	17人中	13人中	13人中	13人中
整頓（机の中や棚の中をきちんと片付けていますか。）	17人中	13人中	13人中	13人中
節電（電気の節約を意識していますか。）	17人中	13人中	13人中	13人中
節水（水の節約を意識していますか。）	17人中	13人中	13人中	13人中



毎月チェックをしていくことで、どの項目が全校の課題なのか、取り組みやすい項目なのかがわかります。

環境のために学ぶ～発信の視点～

全校で活動したことを多くの人に伝えていく活動を行い、さらに全校の環境意識を高めていく取組を行った。

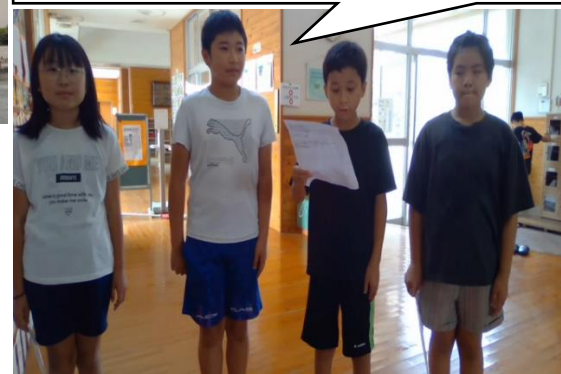
環境教育・ESD動画100選への取組

全校で行った環境活動を多くの方に知ってもらおうと、環境省「環境教育・ESD動画100選」に応募した。その後、100選の一つに入ることができた。また、町内の広報誌でも紹介していただく機会を得ることができた。今後の環境活動への大きな自信に繋がった。



わたしたちは、この自然豊かな場所で暮らしています。そして、わたしたちは、全校で協力して環境活動に取り組んでいます。

掃除をする時は、いつも学校がきれいになってほしいと考えながら進めています。



3

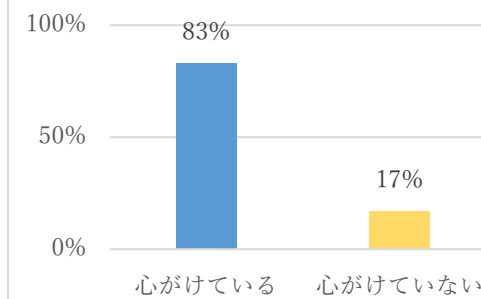
記

録

ごみについての児童意識調査から

ごみについての児童の意識調査を行った結果、「ごみを出さないよう心掛けている」と答えた児童は、全校の83%おり、環境体育委員会によるごみ計測活動の成果が見えている。一方「心掛けていない」と考えている児童が「心掛ける」に変わるまでの手立てが必要である。環境体育委員会時に引き続き考えていきたい。

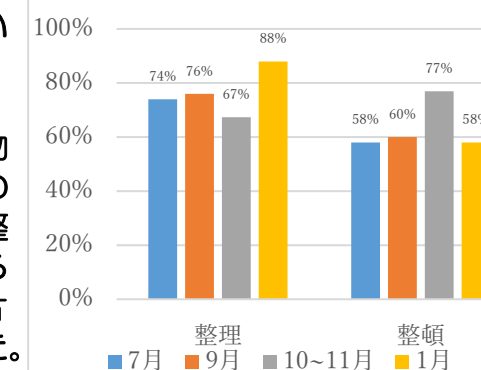
ごみについて、あなたはごみをあまり出さないように心がけていますか。



蘇陽小4S活動の結果から①整理・整頓

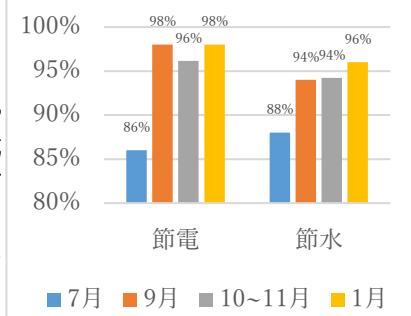
毎月行っている4Sチェックについて、2項目ずつ検証した。

まず、「整理」については、少しずつ意識が高まっている。今後も持ち物への記名、落とし物にならないための自己管理を呼びかけていく。一方「整頓」については、50%～80%くらいにとどまっており、身のまわりの片付け方という今後の課題が見えてきた。



蘇陽小4S活動の結果から②節電・節水

4Sのもう2項目、「節電」「節水」については、どちらも毎月80%～90%に達している。日頃から意識しやすく、また、心掛けやすい行動であると考えられる。今後も呼びかけなど、続けていきたい。



4

見

直

し

環境体育委員会の見直し

環境体育委員会の話し合いでは、掃除用具の点検、4S意識向上のためのポスター作りなど、全校の環境意識向上への手立てを考えながら活動している。今年度も環境体育委員会の活動を通して全校の環境活動を進めることができている。

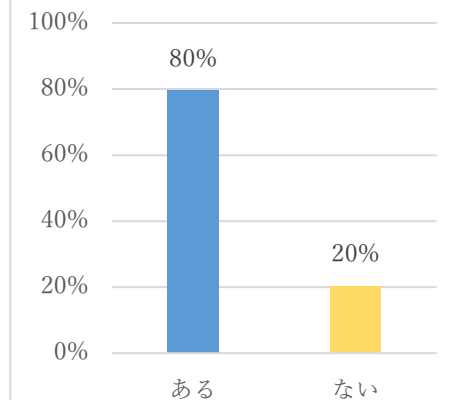


活動後の振り返りは、課題が見え、新たな取組が分かってくるのでとても大切です。

児童の環境意識調査から

「環境について、興味や関心があるか」の意識調査を行った。すると、全校の80%の児童が興味や関心があると答えていた。また「これから環境に優しい学校にするためには」という質問では、「4Sを心掛ける」などの意見があった。今後も児童の意見を取り入れ、環境活動を進めたい。

あなたは、環境について興味・関心がありますか？



〔環境に優しい学校になるために〕

- ・4Sチェックなどから、節水など環境への意識を高め、声かけなどを無意識にできるようにする。
- ・各自でごみをあまり出さないように心がけるといいと思う。

成果と課題

全体的には、取り組んできた環境活動の成果が見られている。しかし、児童や職員の生活まで環境の意識が浸透しているとは言えない。日常活動である花活動や縦割り班活動がマンネリ化しないよう工夫を重ね、また、4Sへの意識を高めていくための手立てが必要がある。

これからも全校が一つとなって環境について考えていきたい。